

Press Release:2012.6.2

発散する点：Point of divergence

足高 寛美 展

2012年7月3日(火) — 7月15日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊



【画像01】 「 left / 22.5° 」 2009 人毛 直径約35mm [撮影:草木貴照]

ご案内

2002年に成安造形大学・ファイバーアートクラスを卒業した足高寛美は、毛髪(人毛)を用いた「図」を提示する作品を制作・発表しています。

「目の前にある、人のかけらのわずかな軌跡に、膨大な、無名の、生の続きを見る。連鎖し、内包されたその様相をかたちにしたい」として、ファイバーワークに見られる「編む・織る」などの行為はそのままに、その素材として毛髪という存在に着目した足高は、2008年に毛髪をかぎ針でレース編みした作品を「piece/one」展(ギャラリーマロニエ/京都)で発表して以降、現在までその作品を段階的に深めてきました。

毛髪をはじめて用いたその作品群は、「星の欠片で人体が出来、やがて土に還りまた別の生命体になる」という生の「円環」の提示が試みられたもので、装飾的・幾何学的な図はそれぞれが独立した「閉じたサークル」として描き出されています。また、2009年には、その「ひとつなぎの輪」である円環に存在するであろう極点(始点:終点、誕生:消滅)に着目し、図には「両極」が出現し、中心から外・内に開いた図はまるで貝殻の模様のような螺旋を描きはじめます。

2010年《北京の蝶、ニューヨークの嵐》の作品群は、連続的に動く点のある方向への「一連のベクトル」や「線」として捉えて、もはや中心は無く、独立した個々の作品すらもひとつの大きな円環を描くかのように展開しました。また、「ランダム」の存在に注目し、それぞれの線の「ランダムな振る舞い」の視覚化に取り組みられています。

「有機(肉体)と無機(塵)の間」にある毛髪によって示されるその図は、「生:死」の対比による二極を描き出すのではなく、「生」の成り立ちに眼差しを向け、「生」の存在を縮小・拡大しながら図として切り取るかのようです。また、自然物(細胞の構成図、貝殻の螺旋模様)や、フラクタル図形をなぞるかのようなその「図」は、生の軌跡のマッピングであると言えるかもしれません。

本展では足高がその新たな展開を模索する過程として、ひとつの「点」から複数の方向に線(ベクトル)が派生し、そこにより複雑で多様な「生:存在」を示すかのような作品を発表します。それは、これまでの生の軌跡を可能な限り忠実にカタチに還元する行為に加え、それらを超えてより連鎖的に・能動的に・ランダムに展開し続ける新たな「生」の振る舞いと、その「可能性」を探すものと言えます。

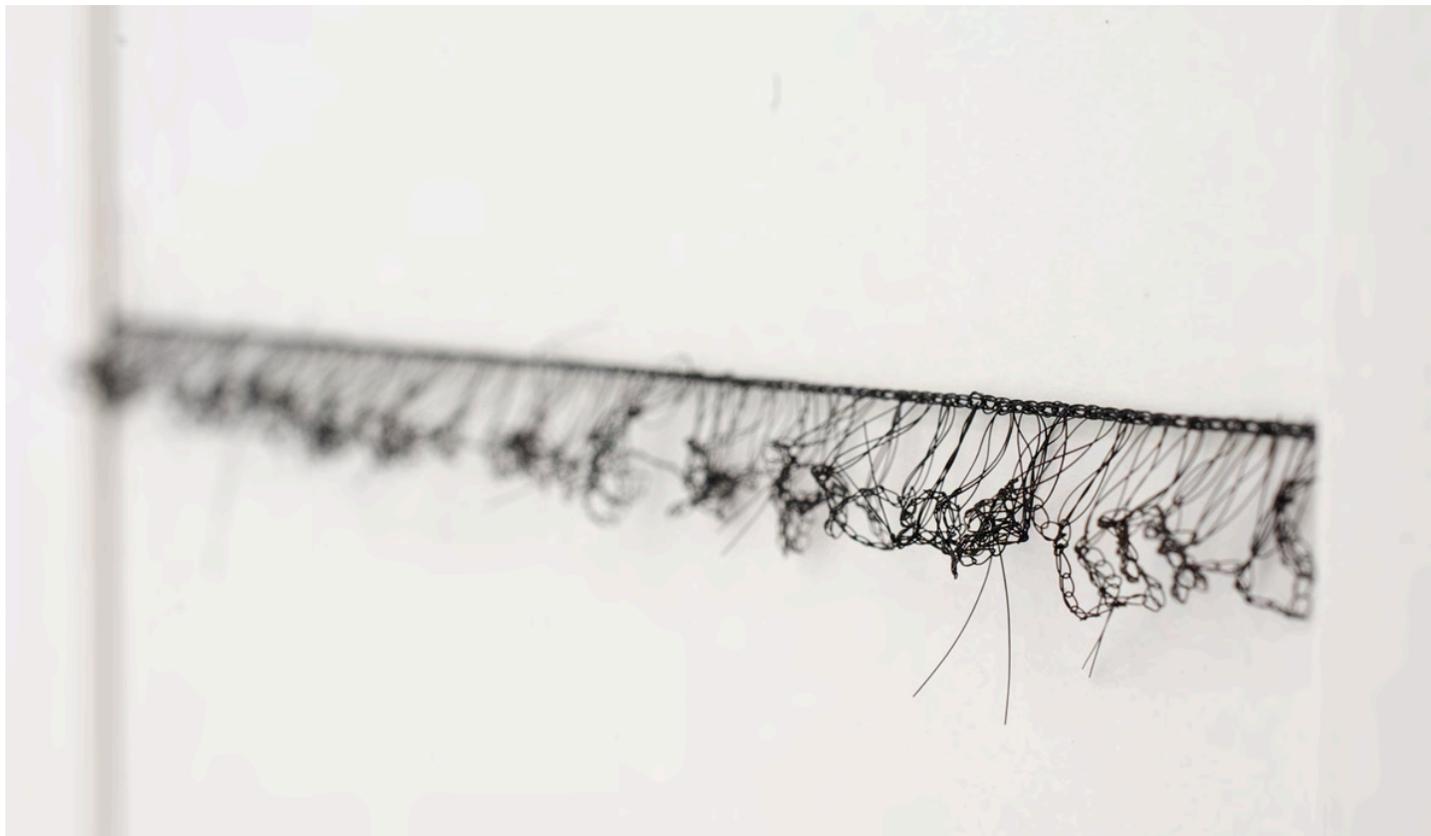
過去作・新作をあわせて展示する本展では、その変遷とともに、新たな展開への可能性をご覧いただけるのではないのでしょうか。

Press Release:2012.6.2

発散する点: Point of divergence

足高 寛美 展

2012年7月3日(火) — 7月15日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊



【画像02】「down」 2009 人毛 約10mm×180mm [撮影:草木貴照]

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、info@galleryparc.com迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 発散する点:Point of divergence 足高 寛美 展

出品作家 足高 寛美(あしたか・ひろみ) *高は「ハシゴ高」

会 期 2012年7月3日(火) — 7月15日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊

主 催 ギャラリー・パルク

会 場 Gallery PARC(グランマーブル ギャラリー・パルク)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ]店舗内2階

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com 【HP】http://www.galleryparc.com

料 金 無料

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分

三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

展示内容 【平面】

毛髪を編んだ作品を制作する足高寛美の個展。2008年から現在までの作品群およそ10点を展示し、個性的な作品に通底するコンセプトを概観いただけるとともに、新作による新たな展開をご覧いただけます。

お問い合わせ: Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

Press Release:2012.6.2

発散する点：Point of divergence

足高 寛美 展

2012年7月3日(火) — 7月15日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊

足高 寛美 ASHITAKA Hiromi

【作家略歴】

1980年大阪生まれ

2002年成安造形大学 造形美術科 ファイバーアートクラス卒業

【おもな展覧会】

- 2012 二・五次元 ー絵画考ー(ギャラリーマロニエ/京都)
- 2011 KANHIKARI ART EXPO 2011(御寺泉涌寺/京都)
- 2010 「北京の蝶、ニューヨークの嵐」(ギャラリーマロニエ/京都)
二・五次元 ー絵画考ー(ギャラリーマロニエ/京都)
- 2009 triangle(MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w/京都)
二・五次元 ー絵画考ー(ギャラリーマロニエ/京都)
- 2008 piece/one, Curator's Eye 2008(ギャラリーマロニエ/京都)
hana2008 間~MA~(京都芸術センター/京都)
- 2007 preserved, Curator's Eye 2007(ギャラリーマロニエ/京都)
- 2006 越後妻有アートのトリエンナーレ2006(十日町市/新潟)
- 2004 AQUART2004(西ノ島町/島根)
- 2003 群馬青年ビエンナーレ'03(群馬県立近代美術館/群馬)
- 2002 Wool in Wool Exhibition'02(小岩井農場/岩手)

【ステートメント】

足もとの塵と埃に混じって落ちていた毛髪に無名の存在を見る。

かつて宇宙の塵が集まって、地球が誕生したという。

その塵は寿命を終えた星のかけらであるらしい。

目の前にある、人のかけらのわずかな軌跡に、膨大な、無名の、生の
続きを見る。

連鎖し、内包されたその様相をかたちにしたい。



【画像04】 「 leftward 」 2009 人毛 約1000×100mm 【撮影：草木貴照】



【画像03】 「 北京の蝶、ニューヨークの嵐 4/0 」 2010 人毛 180×180mm 【撮影：草木貴照】



【画像05】 「 北京の蝶、ニューヨークの嵐 」 2010 人毛 サイズ可変 【撮影：草木貴照】